

山陽小野田市 LABV プロジェクト 優先交渉権者決定！

SCENE 1



LABVとは、官民連携手法の1つで、市が市有地を現物出資し、民間事業者が資金出資して作った事業体が、公共施設と民間収益施設を複合的に整備するものです。

本プロジェクトでは、商工センター解体後の跡地を活用し、単なる複合施設として整備をするのではなく「にぎわいの再創出」につながる拠点開発を行い、地域ににぎわいを波及させていくことを目指しています。

2月4日には、プロジェクトの優先交渉権者が、合人社計画研究所(本社広島市)を代表とするグループに決定し、市役所で記者会見を行いました。

藤田剛二市長は「協創によるまちづくりを具現化していきたい」と意欲を示しました。

SCENE 2 児童生徒の個性が光る 第17回児童生徒書道展

1月27日から2月2日まで、書道の正しい理解と普及を図り、市民文化の向上を目的に、第17回児童生徒書道展をおのだサンパークで開催しました。特選・入賞作品をはじめ994点を展示。太く力強い字や伸びのある字など、個性豊かな書が壁一面に並びました。



SCENE 3 令和3年度功労者表彰 地域の環境美化や防犯に貢献

市 自治会連合会、市快適環境づくり協議会、市防犯防災協会(いずれも岡本志俊会長)主催の功労者表彰式が2月17日、市民館で行われました。自治会活動や環境美化、防犯活動をはじめ、安心安全の地域づくりに長年貢献したとして、12団体と51人が受賞し、表彰状を受け取りました。